Seishin Campus 218

おもな記事

・髙祖敏明新学長就任挨拶
・岡崎淑子前学長退任挨拶
・新任教員挨拶
・平成31年度入学式
・平成30年度卒業式
・就職活動について
・聖心女子大学マグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞
・聖心女子大学学長賞
・新学食紹介　他

聖心女子大学
University of the Sacred Heart, Tokyo

2019年（令和元年）6月10日発行

新学長就任挨拶

予測不可能な時代の不易と流行

高祖 敏明

プロフィール

1947年（昭和22年）1月1日生まれ。72歳。イエズス会司祭。学校法人上智学院前理事長、上智大学名誉教授。上智大学、同大学院教育学専攻で学んだ後、母校の教員となり、文学部長等を歴任。専門は比較教育史。著書に『東洋の使徒ザビエル』（上智大学出版）、『ルネサンスの教育思想』上、下巻（東洋館出版）他多数。2006年～13年（平成18年～25年）まで文部科学省中央教育審議会専門委員。2008年（平成20年）～日本学術会議大学教育の分野別質保証に係る委員会委員を歴任。現在、国際交流や留学生支援の多くの団体の理事・評議員等を務めている。

岡崎淑子前学長の後を受けて、2019年４月１日付で聖心女子大学学長に就任いたしました。まことに微力ではございますが、聖心会と本学の創立以来の伝統と成果を継承し、教育、研究、社会貢献それぞれの更なる充実と発展をめざして努める所存です。皆さまのご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

「聖心女子大学のキャンパスに一歩足を踏み入れた者は誰も、そこを領している独特の『空気』に触れて身と心が引き締められるのを感じる…『聖心』という言葉がまことにふさわしい聖なる静けさ、平安な和らぎがそれである。」キリスト教文化研究所の元所長遠藤徹教授の言葉に深く共感を覚える日々に、紅白の源平桃と満開の桜並木に彩られ、新入生たちが行き交う春のキャンパスは、華やいだ希望の色を添えています。

先日の春のオープンキャンパスでは、「リベラルアーツの聖心」を紹介する会場とともに、紅白の花が右と左にみごとに分かれて咲いた源平桃が大人気で、その前で多くの高校生たちが順に家族と記念撮影に収まっていました。受験生と御父母に、ますます選ばれる大学として充実を図る使命が課せられているとの思いを強くしました。

その数日後には、お隣の日赤医療センターから花見の一団がキャンパスにやって来ました。車いすに乗ったグループに、看護師や付き添いの人びとにケアされながらベッドごと運ばれてきた数人も加わり、総勢30数人で、正門から続くほぼ満開の桜並木を見上げつつ進んで、やはり源平桃の木の前で記念写真を撮っていました。本学が地域の人びとから大事にされ、愛される大学であることに小さな誇りも感じました。

こうした地域の人びとに愛され、未来の聖心生に選ばれるためにも、本学の教育、研究、社会貢献それぞれの魅力を高め、国内外に発信することが欠かせません。さいわい、本学の「特記すべき長所」として第三者機関による認証評価が称揚したのは、「手厚い学生支援体制」と「ボランティア活動が積極的で組織的」の２点でした。前者は、各学科・専攻、事務局、センターなどの教職員が密に連携を図りながら学生の満足度の向上に努めており、留年、退学者の割合がきわめて低いこと。後者は、学生の８割以上が参画しており、障碍児、難民、震災復興への支援活動等の課外体験と大学での学びとを結ぶ努力がなされ、教育理念とも合致しているとの評価でした。これらを更に発展させるのも大切な務めです。

初代学長のマザー・ブリット以来、歴代の学長が重視したリベラルアーツは、「世界をどう認識するか」とともに「世界とどう関わるか」をも学び、世界中の人が同じ目の高さで交わりながら、一つの家族となってお互いに尊厳を尊びあう素地と基盤を育むものです。

聖マグダレナ・ソフィア・バラが1800年に創立した聖心会は、フランス革命直後の混乱の中、新しい社会の建設を担う女性の育成をめざして設立された教育修道会です。以来、世界中約30か国に146校の姉妹校を擁するまでに発展し、マザー・ブリットの「世界のどこにあっても愛の灯を掲げる女性となりなさい」を心に刻みながら地道な努力を重ねています。

翻って、今日迎えつつあるソサエティ5.0は予測不可能の時代といわれ、グローバル化、ディジタル化、ソーシャル化の進行は、超スマート社会を導く時代の大変動期にあります。本学は、この４月より新たに発足した現代教養学部の実質化を図り、不易流行のよろしきを得て、リベラルアーツを基盤にグローバルマインドを身につけた、地球家族につながる新しい社会の担い手を育てていく覚悟です。御父母、卒業生、協力会の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

退任の挨拶

前学長　岡崎 淑子

2018年11月30日
BE＊hive でのワークショップにて

この度2019年３月31日をもって任期満了により、聖心女子大学学長を退任いたしました。2011年９月に就任して以来７年６か月の間、聖心女子大学の教育・研究・経営等、さまざまな方面でご指導、ご支援いただき、お世話になりました皆様に心より感謝申しあげます。

私の学長任期は、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の発生後の８年間と重なる時期でした。寺中元学長が立ち上げられた東日本大震災復興支援推進会議のもとで、復興支援のボランティア活動のみならず、授業、講演会などを通して災害を自分の問題として捉える学びを重視してきました。これは、日本における最初の新制女子大学の一つとして1948年に開学した本学の初代学長、マザーブリットが本学の建学の精神に則って強く打ち出された教育方針“社会的意識をもち、実践活動によって積極的に関与する人間の育成”を継承するものです。私は学部学生時代を初代学長のもとで送り、マザーブリット学長の熱意と厳しさと共に一人ひとりに注がれる温かさを、多くの卒業生と同様に強く印象付けられながら学生生活を過ごし、そのような人間教育のあり方を学生たちの教育に反映させたいと考えてきました。

学長の任期の後半には、さまざまな改革や新規事業が実現しました。学科編成の改組、学部名称の変更、保育士養成課程の設置、入学試験の方法の改善、学生寮の新設等キャンパス整備、そして旧 JICA 広尾センターの土地・建物購入による４号館／聖心グローバルプラザの開設と、聖心グローバル共生研究所の設置、これらを通した社会に開かれたかたちでの国際理解・国際協力・開発教育等の分野の教育・研究、社会貢献の推進などが挙げられます。しかしこれらは、学長主導でまっしぐらに実現したものでは決してなく、大学の改革や発展に向けての教職員の熱意と協力、労苦によって成ったものであり、これに携われた教職員の皆様、またキャンパス整備のためにご支援下さった多くの皆様に心からの敬意と感謝をお捧げいたします。

本当にありがとうございました。

平成30年度第2回 聖心女子大学協力会役員会開催

2019年３月20日午後３時から本学ブルーパーラーで2018年度第２回聖心女子大学協力会役員会が開催されました。

濱口会長の進行のもとに、議題１「2018年度事業報告及び決算見込について」及び議題２「2019年度事業計画及び予算案について」、配布資料をもとに原田管理部次長から説明があり、それぞれの議案が承認されました。議題３「2019年度役員候補者について」は、名誉会長である岡崎学長に人選を一任することが承認され、議題４「2019年度監事候補者について」は、現任の宇野節生氏、羽渕信宏氏を監事候補者として総会に推薦することが承認されました。引き続き、報告事項として北村副学長（評価・大学院担当）、佐々木副学長（学務担当）、川津副学長（学生担当）及び西村事務局長から大学の近況が報告された後、質疑応答があり、午後４時に閉会しました。

（※役職名は３月時点でのものです）【総務課】

宮代会だより

４月２日、穏やかな良い天気に恵まれ、無事入学式を迎えられた新入生の皆さま、聖心女子大学同窓会、宮代会から心よりお祝い申し上げます。

南門を上がった左手にある白い建物、宮代会館で私ども同窓会は活動しており、宮代会の各種行事、ボランティア活動、お稽古、会合等で多くの会員にご利用いただいております。

お稽古は華道、書道、日本画、テーブルセッティングなど、在校生も参加できますのでどうぞ宮代会館にお問い合わせくださいませ。

お稽古の問合せ
【月～金】　10時～16時の館内利用時間内
【電話】　03-3407-1971

新任教員紹介

史学科で日本近代史を担当します。戦争（軍事）や自然災害が日本に与えた影響という観点から、研究を進めています。いま取り組んでいるのが、首都圏の災害に関する研究です。1923年に首都圏を襲った巨大災害である関東大震災から、あと４年で100年という節目の年を迎えます。地震以外にも、首都圏では洪水や高潮などによる被害が発生してきました。過去の災害の様相や、対応の仕方を明らかにし、少しでも防災に貢献できればと思います。

史学科教授
土田（ツチダ） 宏成（ヒロシゲ）

研究の専門分野は組織心理学です。特に、上司・部下関係における信頼について研究しております。上司と部下はそれぞれ立場が違い、任される役割や期待、権限なども異なります。そうした関係でいかに信頼を醸成し、それがどのような心理的効果をもたらすかについて論究しています。

こうした研究は、部活動やサークル活動など、学生の身近な例に通じる部分もあります。そうした例をみなさんと考え、新たな発見や学ぶ楽しみにつなげていければと思います。

人間関係学科専任講師
藤原（フジワラ） 勇（イサム）

国際交流学科で国際法や国際人権論を担当します。国際法学は、非常に幅広い問題を扱う学問分野であり、私は特に国際人権法を専門としています。

これまで、日本とヨーロッパ地域の人権保障制度を比較しながら、生まれ育った環境も文化も異なる人々が対等に共存すること（多文化共生）をいかに実現し得るかという課題に、法学研究の立場から取り組んできました。本学では狭義の法学にとどまらず幅広い視点を持って、多文化社会にとって必要な人権保障のあり方を考えていきたいと思います。

国際交流学科専任講師
佐々木（ササキ） 亮（リョウ）

この度、教育学科に着任いたしました。学科では、「教育原理」「西洋教育史」「教職入門」「道徳教育の理論と実践」等の講義を担当させていただきます。専門は、教育哲学･教育思想史で、これまでは特に、19世紀ドイツの哲学者・教育学者であるヨハン・フリードリヒ・ヘルバルトの教育思想について研究してまいりました。最近は、現代社会における「自律（自立）」のあり方などへも関心を広げています。学生の皆さまと一緒に、学ぶ楽しさを共有していけたらと思っています。

教育学科専任講師
小山（オヤマ） 裕樹（コウキ）

私は、体育科教育と舞踊教育を専門としており、教育学科では「体育科教育法」「体育運動学（ダンス／クラシックバレエ）」等を担当します。主に、体育科におけるダンスカリキュラムや教員養成課程におけるダンス授業の在り方について研究しております。身体活動には、瞬きのような生理的な動きもあれば、スポーツやダンスなどの洗練された活動も含まれています。後者の文化的な身体活動を媒体とし、体育科の目標である「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する」ためには、どのように教育していくべきかについて、学生のみなさんと考えていきたいと思います。

教育学科専任講師
朴（パク） 京眞（キョンジン）

公認心理師に関連する科目を主に担当いたします。本学の学部・大学院を卒業後、大学病院の精神科に勤務し、主に成人の発達障害の方への支援・研究を行ってまいりました。心理学を学ぶことは“人”を知る、そして自分自身をみつめる機会になります。心理の専門家になるためだけでなく、日々の生活の中にも生かすことのできる奥深く、豊かな学問だと感じています。学生のみなさんとともに心理学の学びを深めていきたいと思っております。

心理学科助教
小峰（コミネ） 洋子（ヨウコ）

みなさま、はじめまして。私はこれまで、心理臨床の現場で、主に精神疾患を持つ方へのカウンセリングや心理検査などを行ってきました。特に関心を持って積極的に携わってきたのが、心理アセスメントの分野です。心理アセスメントは、人の心という複雑で奥の深いものを言葉で表現しようとする試みといえます。当然、難しさはありますが、その人の人生に深くかかわることができる営みでもあり、興味が尽きることはありません。ぜひみなさまと一緒に学びを深めていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

心理学科助教
森（モリ） 千夏（チナツ）

私は、幼稚園や保育所などの乳幼児の保育現場で勤務してまいりました。日本における幼稚園や保育所は私立の割合が多く、園によって保育方針や内容は様々です。その中でも、子ども主体の遊びを中心とした保育において子どもたちが環境を通して学び、成長していく姿を保護者に伝えることの重要性や子どもたちの育ちを共に喜び合えるような施設の在り方について、関心を寄せてまいりました。

母校である聖心女子大学では2号館1階の子育て支援室「マーガレットルーム」の運営や保育実習指導の授業を担当させて頂きます。是非、皆様も「マーガレットルーム」へお立ち寄り下さい。

教育学科助教
矢尾（ヤオ） 千比呂（チヒロ）

聖心女子大学
平成 31 年度 入学式
4 月 2 日（火）於マリアンホール

式辞
伝統を継承し更なる充実と発展へ

聖心女子大学学長　髙祖 敏明

春爛漫のこのよき日に、晴れて聖心女子大学に入学された皆様、おめでとうございます。また、宮代ホールおよび教室におられます保護者の皆様、ご家族の皆様にも心よりお喜び申し上げます。自然界がよみがえるこの季節に、若さあふれる多くの新入生を迎えることができて、とてもうれしく、教職員と共に心より歓迎申しあげます。すでにご案内のように、本日より本学は現代教養学部として新たに発足しました。1948年の創立から数えれば、新入生の皆さんは第72期生ですが、現代教養学部第１期生ということになります。

実は私も Sr. 岡崎学長の後を継いで、昨日学長に就任したばかりで、若葉マークの付いた学長です。どうぞよろしくお願いいたします。今月から来月にかけて天皇のご退位と新天皇のご即位があり、元号も平成から令和へと移ります。皆さんは平成最後の入学生であり、同時に令和元年の新入生です。また今年11月末には、ローマ教皇フランシスコの日本訪問も計画されており、カトリック大学である本学もその来日を楽しみにしております。

ところで皆さん、本学が実はローマ教皇と天皇家とのかかわりから生まれたことをご存知でしょうか。

いまから100年以上も前の1905年11月、時のローマ教皇ピオ10世が明治天皇への親書を携えた親善使節を日本に派遣しました。それは日露戦争の折に、満州にいたカトリックの人々を日本の政府や軍隊が保護してくれたことへの感謝を伝えるためでした。団長はアメリカ・メーン州ポートランドの司教ウィリアム・ヘンリー・オーコンネルで、彼は、皇室が差し向けた６頭の白馬が引く馬車に乗って青山御所を訪れ、天皇にお目にかかって首尾よく務めを果たすことができました。しかしこの使節には、もうひとつの使命がありました。それは、日本にカトリック系の高等教育機関を開く可能性について調べてくることでした。いろいろな情報を集め､時の総理大臣桂太郎に会った時、そうした望みを打ち明けました。すると桂首相は「カトリックとは世界に聞かれたという意味ですね」と話しながら、「真に国際的な大学を創るなら応援したい」と応じました。使節はすぐに、「日本人に人気のあるフランシスコ・ザビエル」のことを引き合いに出し、際立って国際的に活躍していた修道会の名をあげ、ここに日本にカトリックの大学を開設する道が開けたのでした。使節はこれらのことをローマ教皇に報告し、これを聞いたピオ10世は、女子の高等教育を聖心会に、男子のそれをイエズス会に託すことを望まれました。こうして1908年、聖心会はオーストラリアからシスター４人を、イエズス会はドイツ人、フランス人、イギリス人の３人の神父を日本に派遣しました。聖心会は、すぐに外国語学校や高等女学校を創設し、1916年には私立聖心女子学院高等専門学校を開校しました。この高等専門学校が、30数年後の1948年に創立される聖心女子大学の母体となったのです。

さきほど、使節の口からフランシスコ・ザビエルの名が出てきましたが、彼が活躍した16世紀は、地球上のそれぞれの地域世界がようやくひとつの世界に向けて関わりを持ち始める時代であり、今でいうグローバル化時代の幕開きでした。そうした時代環境のなかで彼は、ローマ教皇の望みを受けて東洋に派遣され、日本とヨーロッパとを結びました。ザビエルは実際、都（今の京都）に上って天皇にお目に掛かり、キリスト教宣教の許しを得ようとしていました。皆さんも、ザビエルが1549年に鹿児島に上陸したことはご存知でしょう。彼は当時の都に上り、天皇及び将軍から宣教の許しを得ようとし、同時に日本の大学（大寺院の学問所）を訪ねて思想交流、文化交流をしたいと望んでいました。その望みは、戦乱状態の都では叶わなかったものの、当時「西の都」と呼ばれていた山口では仏教各派との宗教対話が営まれ、500人ほどの人に洗礼を授けています。

ですが、彼が２年余りの滞在を終えて1551年11月に豊後（今の大分）から日本を去るとき、若い二人の日本人を連れていたことをご存知でしょうか。鹿児島のベルナルドと山口のマテオと呼ばれる若者で、ザビエルは彼らを、いわば最初の日本人留学生としてヨーロッパに派遣する計画だったのです。当時の船

旅は今と違って、大きな危険を伴うものでした。インドからポルトガルまで10ヶ月もかかる長い、風任せ、潮の流れ任せの航海で、暑さによる食物の腐敗や病気との闘い、台風や海賊の襲来など、まったく生きて帰れる保証のない旅でした。

では、そんな危険を冒してまで何故ヨーロッパに渡ろうとしたのでしょうか。この二人をポルトガルの仲間に紹介するザビエルの手紙によれば、それは「自分の目で見、自分の耳で聞いたことを日本人に証言するため」です。では、どうしてそんな証言が必要だったのでしょうか。それは、同じ手紙に、当時の日本人は「世界には自分たちしか人間はいないと思い込んで生活していたから」と書かれています。

少し説明を加えますと、当時の日本人は、時代を考えれば無理もないのですが、自分の住んでいる地域が世界のすべてで、いわば「井の中の蛙」でした。かなり教養のある学者やお坊さんでも、世界とは日本と中国、それに西方浄土の天竺、すなわちインド、この三国がすべてでした。ですから、ザビエルたちも天竺からやって来た仏教の僧侶と受け止められ、ヨーロッパの存在など信じてもらえず、ルネサンスやキリスト教についても「作り話だろう」といった、冷ややかな反応が多かったのでした。

そこで二人の若い日本人が、「それなら自分たちが実際にヨーロッパにまで行き、リスボンやローマを訪れ、自分の目で見、自分の耳で聞いたことを帰国後日本人に証言しよう」と思い立ち、ザビエルの支援を受けて、まずインドに渡ったわけです。

ところが興味深いことに、同じ手紙の後半でザビエルは、徳が高く学識に優れたお坊さんを二人、同じようにヨーロッパに派遣しようとした構想を紹介しています。その理由は、お坊さんたちに見聞を広めてもらう狙いもあったでしょうが、ザビエルはこう記しています。「この二人のお坊さんたちを観れば、日本人が徳の面でも学識の面でもどんなに優れているかがヨーロッパにいるあなたたちにも分かるでしょう」と。つまり、「井の中の蛙」でいたのは日本人だけでなく、当時のヨーロッパ人も同じだったわけです。

こうして日本とヨーロッパ双方の強い点と弱い点を知っていたザビエルは、相互の人物交流を手始めに、日本とヨーロッパとが文化交流・思想交流を始めて、お互いに相手から学び合うこと、今日の言葉で言えば国際交流を志しました。皆さんが聖心で学ぶグローバルな共生の原型のひとつを、ザビエルのこの志に、人種を越え、国境を越えた同じ目の高さでの国際的相互交流に見出せるのです。

皆さんは、現代教養学部を立ち上げた本学で、１年目は全員が基礎課程に属し、総合現代教養科目と基礎ゼミを軸にして学び、２年生に上がるときそれぞれの専攻を決めることになります。いま紹介したザビエルたちの志を受け継ぎ、勉学、クラブ活動、ボランティア活動、（あるいはアルバイト）などを通して「井の中の蛙」から脱出し、誰とでも友達になれる地球市民、グローバル共生の知恵を身につけた国際教養人に育って行ってください。

AI の活用が叫ばれ、通信技術の第５世代の開発競争が展開されている現代世界、環境、貧困と格差、教育の問題など2030年までに達成すべき17の目標を掲げて「誰も取り残さない No one will be left behind」を運動の中心にすえる SDGs、社会的共生の実現こそをレガシーとして残したい東京2020のオリンピック・パラリンピック。皆さんはこうした時代の大きな転換期に本学で学びますが、これから20年後30年後の日本と世界を担うのは皆さん自身なのです。さあ、私たちと一緒に聖心での学びを始めましょう。

結びに、今日から始まる新しい学生生活が、まずは楽しい学園生活でありますように。

そして、皆さんが人間として、女性として、地球市民として大きく育ち、「30倍、60倍、100倍もの実を結ぶ」学園生活でありますように。こうお祈り申し上げて式辞といたします。

聖心女子大学
平成31年度入学式　祝辞

本日この歴史と伝統ある聖心女子大学にご入学になられましたことを心からお祝い申し上げます。

協力会を代表して一言ご祝辞を申し上げます。

学校法人聖心女子学院の教育理念には、「一人ひとりが神の愛を受けたかえがえのない存在であることを知り、世界の一員としての連帯感と使命感をもって、より良い社会を築くことに貢献する賢明な女性の育成をめざす」と謳われています。これは聖心会を創立した聖マグダレナ・ソフィア・バラの教育理念でもあります。

この５月で元号も変わり、大きな変化の時期を迎えた今、こうした「聖心のスピリット」に基づくさまざまな学びを通して、真の人間力、リーダーシップを育んでください。

しっかりした価値観、人生観をご自分のなかに創り上げること、急激な世界の変化についてどう対応したらよいのか考えること、これを解いて行くのがリベラル・アーツの教育です。多くの古典に触れ、歴史や哲学を学門の基本として学び、考えてください。

そして先生方や友人たちと対話してください。

皆さんが神様から与えられた能力を最大限社会のために活かせるよう、この４年間を有意義に過ごされることを切に願っております。（要約）

聖心女子大学協力会
会長 濱口敏行

聖心女子大学
第 69 回 卒業式
第 14 回 博士学位記授与式
第 66 回 修士学位記授与式

平成31年３月16日（土）午前10時30分より第14回博士学位記授与式及び第66回修士学位記授与式が行われ、修了生代表として富永敦子さんが謝辞を述べました。

午後13時からの卒業式では、岡崎淑子学長から一人ひとりに学位記が手渡され、卒業生代表として野田佳歩さんが謝辞を述べました。

卒業生代表
野田 佳歩さん

修了生代表
富永 敦子さん

祝辞

聖心会
日本管区管区長
新庄 美重子

卒業生の皆様、卒業の喜びを迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。

創立者聖マグダレナ・ソフィアと共に「聖心会」の基を築いた同志のなかに、フィリピン・デュシェーンがいます。19世紀初頭、彼女によって聖心の学校がアメリカ大陸にもたらされ、そこから世界中にひろまっていきました。あの時代、アメリカ大陸に渡るということは大ごとでした。未知の世界に出ていくということは、今を生きる私たちの想像を超えるものであったと思います。情報社会にいる私たちにとって、外国に行くことはそれほど未知の世界に飛び込むというインパクトはないかもしれません。それでも新しい出会いや出来事は予想以上にチャレンジの多いものになるでしょう。ぜひ、聖フィリピン・デュシェーンから、未知の世界に出てゆく勇気と、苦難に遭ってもくじけない不屈の精神を学んでください。そして喧噪のなかにあっても、静かに立ち止まり、内省し、祈る習慣を身につけてお進みください。（要約）

平成30年度卒業生及び学位記授与者の状況は次のとおりです。

学部

英語英文学科	93名
日本語日本文学科	59名
史学科	45名
人間関係学科	72名
国際交流学科	74名
哲学科	50名
教育学科	
〈教育学専攻〉	30名
〈初等教育学専攻〉	35名
心理学科	63名

大学院博士後期

人文学専攻	2名
人間科学専攻	1名

大学院修士及び博士前期

日本語日本文学専攻	1名
史学科専攻	3名
社会文化学専攻	1名
哲学科専攻	2名
人間科学専攻	11名

※現学科名で表記

平成30年度卒業生の進路状況及び平成31年度卒業（修了）予定学生の就職活動について

本学の就職決定率は98.0%（５月１日現在）と今春の卒業生も高水準を維持しており、また、決定した進路への学生満足度（卒業時アンケート）も94.9%と良好な数字を示しています。

◇４年次生◇

昨年度よりさらに早いペースで就職活動のピークを迎えています。筆記試験や面接の結果に一喜一憂し不安になる時期でもありますが、キャリアセンターは５名のスタッフと12名のキャリアカウンセラーで皆さんの就職活動を支えています。エントリーシート添削、面接練習、就職活動の進め方についての相談等、ぜひキャリアセンターを利用してください。内定時期の早い遅いを気にせずに、自分なりの道を進んでいきましょう。

◇３年次生◇

就職活動の実質的な早期化への対策として、採用試験本番の対策にもつながる「夏のインターンシップ選考対策」を強化しています。詳細は進路支援システム「Torch」で確認してください。

2018年
有名企業400社実就職率
全国女子大　１位

2018年３月卒業生を対象にした「有名企業400社実就職率ランキング」（大学通信調べ）が発表され、聖心女子大学が全国31位、全国女子大では１位に選ばれました。

平成30年度卒業生の進路状況

卒業者数521名

就職決定率	98%
就職決定者数	451名
進学決定者数	39名（うち、国内進学決定者32名）

主な就職先

※企業名等は、学生本人からの申告に基づき掲載しています。

■建設業
五洋建設
松井建設
竹中土木
東洋エンジニアリング

■製造業
TDK
アマダホールディングス
サマンサタバサジャパンリミテッド
サントリーホールディングス
ディスコ
ノエビア
ブリヂストンタイヤジャパン
ワコール
興和
古河電気工業
佐藤製薬
三菱電機
資生堂ジャパン
日鉄エンジニアリング
村田製作所
第一三共
日本精工

■電気・ガス・熱供給・水道業
ジェイベック

■情報通信業
AOI Pro.
NEC ソリューションイノベータ
NEC ネクサソリューションズ
NTT データ・アイ
NTT データエマーズ
NTT データソフィア
TIS
USEN
かんぽシステムソリューションズ
グリー
デーリー東北新聞社
ミクシィ
みずほ情報総研
リトル・ママ
ワオンズ
楽天
兼松エレクトロニクス
三井物産エレクトロニクス
三菱総研 DCS
静岡エフエム放送
東芝ソリューション販売
東日本電信電話
東邦出版
日本アイ・ビー・エム
日本アイ・ビー・エム・サービス
富士ソフト
富士通ビー・エス・シー

■運輸業・郵便業
ANA エアポートサービス
ANA スカイビルサービス
ANA 成田エアポートサービス
ANA 福岡空港
JAL スカイ
JAL スカイエアポート沖縄
ソラシドエア
安田倉庫
羽田空港サービス
三井倉庫ホールディングス
全日本空輸
東日本旅客鉄道
日本貨物鉄道
日本航空
日本通運

■卸売業、小売業
HARIO
MonotaRO
TASAKI
アディダスジャパン
かねまつ
キヤノンマーケティングジャパン
セブン - イレブン・ジャパン
ツツミ
ファミリア
メタルワン
ヤナセ
ユナイテッドアローズ
ローソン
三井物産
三越伊勢丹
三菱食品
神鋼商事
双日
築地魚市場
伯東

■金融業、保険業
SMBC 日興証券
アニコム損害保険
さわやか信用金庫
ジャパンネット銀行
ふくおかフィナンシャルグループ
みずほフィナンシャルグループ
みずほ証券
りそなグループ
群馬銀行
国際協力銀行
三井住友海上火災保険
三井住友銀行
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
三菱 UFJ 銀行
住友生命保険
第一生命保険
東京海上日動火災保険
日本銀行
日本生命保険
明治安田生命保険
野村證券

■不動産業、物品賃貸業
イオンモール
ケン・コーポレーション
三井不動産リアルティ
三井不動産レジデンシャルサービス
三菱地所ハウスネット
野村不動産アーバンネット

■学術研究、専門・技術サービス業
TMI 総合法律事務所
森・濱田松本法律事務所
西村あさひ法律事務所
青和特許法律事務所
長島・大野・常松法律事務所
帝国データバンク
電通テック
電通ライブ
東北新社
博報堂 DY デジタル

■宿泊業・飲食サービス業
ANA インターコンチネンタルホテル東京
ヒルトン大阪
リゾートトラスト
星野リゾート
洋菓子舗ウエスト

■生活関連サービス業・娯楽業
ワタベウェディング
東京都交響楽団
コナミホールディングス
エイチ・アイ・エス
乗馬クラブクレイン
東急リゾート

■教育、学習支援業
河合塾進学研究社
日能研
日本国総領事館付属商工会議所ホーチミン日本人学校
シカゴ双葉会日本語学校全日校幼稚部
私立小学校
私立幼稚園
都道府県教育委員会
（公立幼稚園・小学校・中学校）

■医療、福祉
そらのいろ保育園
ニチイ学館
ベネッセスタイルケア
一般財団法人東京社会保険協会
国立がん研究センター
東京都保健医療公社

■複合サービス事業
日本郵便
さいたま農業協同組合
南駿農業協同組合

■サービス業（他に分類されないもの）
セコム
トヨタエンタプライズ
ビズリーチ
リクルートメディカルキャリア
株式会社 STARDUST HD.
関東百貨店健康保険組合
経済同友会
鶴岡八幡宮

■公務
国土交通省
新潟県警察
稲城市役所
市川市役所

平成30年度
聖心女子大学マグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞
表彰式　平成31年３月16日（土）

建学の精神は、一人ひとりの学生の生活の中に生かされてこそ、目的を達成するものです。

本学では、建学の精神をよく体現し、模範となる学生生活を送ったと認められる新卒業生に対して褒賞を行っております。平成30年度受賞者は、卒業式において表彰され、学長より賞状および副賞が授与されました。

英語英文学科
金川 満瑠

この度はマグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞を拝受しまして大変光栄に存じます。

この４年間多くの挑戦をさせていただきました。音声学ゼミや教職課程ではプレゼンなどアウトプット前提のインプットで学びを深めることができました。茶道愛好会は「静」の中で自分と向き合う時間でした。また、副部長として運営に関わらせていただいたことで組織の中での自分の役割を考え、視座をあげて周囲を見る力がつきました。

M.S.S.S. すみれセクションの活動では言葉以外のコミュニケーションの重要性を感じ、相手に寄り添うことで気持ちが通じることを実感しました。聖心の卒業生として、これからも賢明な女性像を自分に問い続け、周囲の方々からの期待を超え続ける存在でありたいと思っております。私の学生生活を支えてくださった方々に心からの感謝の気持ちを忘れず、どのような環境においてもその場に灯を掲げる女性を目指し精進してまいります。

茶道部での活動にて

ゼミにて

史学科
廣田 優里子

この度はマグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞を拝受致しまして、大変光栄に存じます。大学生活を振り返りますと、多くの方々に支えられながらたくさんのことに挑戦でき、大変充実した４年間を過ごさせていただきました。

課外活動では、なぎなた部で部長を務めた他、聖歌隊、ドイツ研究会に所属し、自分の好きなこと、興味のある分野を深めることができました。

１年次から参加させていただいた難民支援団体さぽうと21でのボランティア活動では、難民問題に対して知識や考えを深めると同時に、老若男女様々な立場の方と交流することで、自分に何ができるのか考えさせられ、自らの世界を広げることができました。

この聖心女子大学で私は自分のできることを見つけ挑戦し続けることを学びました。この学びを忘れず社会に出ても精進して参りたいと思います。

なぎなた部の活動にて

聖歌隊の活動にて

哲学科
白田 侑子

この度はマグダレナ・ソフィア・バラ記念学長賞という大変貴重な賞を賜り、大変嬉しく思います。

大学４年間を振り返ると、私ひとりでは決してここまで来ることができなかったと感じます。日々の生活の中で手を差し伸べてくださった先生方、職員の皆様、シスター方、お掃除や警備の皆様、そしてどんな時でも支えてくれた両親、友人や後輩の皆様のおかげです。全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

「そのままのあなたでいい、あなたの好きなようにやってみなさい」という言葉に支えられて、私はいかなる時も自分らしくいられました。

学生会役員会での活動や東北での活動を通して、人と人が心を通わす瞬間を何度も経験しました。多くの活動の中でいかなる時も自分らしさという軸をしっかりと持つことが大切であるということを学びました。

これからは大学生活で大切にしてきた自分らしさを存分に発揮し、子どもたちの教育に携わっていきたいです。誰ひとり取り残さない教育現場を作るために自分に何ができるのか、大人たちは何をすべきなのか、生涯学び、求めていきます。愛する聖心女子大学の益々の発展を祈りつつ、大学にとって有益な人間となって帰ってきたいと思います。

サンディエゴ語学研修旅行にて

学生会役員会メンバーと

平成30年度
聖心女子大学学長賞

表彰式　平成31年４月２日（火）

聖心女子大学学長賞は、学術研究活動、社会活動等で特に顕著な成果を挙げた学生または学生団体を褒賞するものです。
平成30年度の表彰式は、４月２日（火）にマリアンホールにて挙行されました。受賞者の声をご紹介します。

国際交流学科　福井 春菜

この度は、学長賞にご選出いただきありがとうございます。
私は、外務省主催「国際問題プレゼンテーションコンテスト」にて賞を受賞したことを評価頂きました。テーマは日本の外交政策の提案で、私はアフリカ諸国からの国費高校生留学生の受け入れ制度を提案しました。これは昨年本学で開催された元国際連合事務次長の大島賢三様のご講演からヒントを得たものでした。講演を拝聴している際はコンテストへの参加は考えていなかったので、学びや知識はどのような形となって生きるか分からないと感じ、そこに学ぶことの楽しさを実感しました。
この賞を励みに今後も精進して参ります。

硬式庭球部

この度は、硬式庭球部を学長賞にご選出いただきありがとうございます。2018年12月に行われました全国カトリック大学総合スポーツ競技大会での優勝をご評価頂き、大変光栄に感じております。
本大会において、先輩方が繋いでくださった12連覇を守るべく練習に励んで参りました。厳しい試合もありましたが、初出場の1年生を含めた部員全員が勝利し、チーム皆で12連覇を達成できた事は主将として大変嬉しく思います。この賞を頂くにあたり、監督・OG の皆様、顧問・引率の先生を始め私達の活動を応援してくださる大学教職員の皆様、部員のご父兄の皆様に心より感謝申し上げます。この受賞を励みに、夏の関東大学テニスリーグでの昇格に向け一層精進して参ります。本当にありがとうございました。

主将　名村 彩

Information

聖心女子大学 災害復興支援　チャリティデー

東北を忘れない。これからも、ずっと

日時：６月15日（土）
12：30~16：00
場所：聖心女子大学　マリアンホール

長期的な震災復興支援を掲げ開催してきたチャリティデーも、本年度で8回目を迎えます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催：聖心女子大学
協力：聖心姉妹校・宮代会・聖心会

グッズ・文房具の購入は―　宮代ショップ

大学管理棟１階にある宮代ショップでは文房具、履歴書、ファイル等の校名入りグッズを始め日用品も揃えております。

◇営業時間◇
月～金
Open 10:00
Close 16:20
13:30～14:30はお昼休憩
※但しご連絡いただければ対応可。
（宮代会）

新しい学食が OPEN しました

オリーブ（学寮食堂）は、昼食時間帯のみ学寮生以外の関係者も入れます。
４号館の La Mensa jasmin は、イタリアン・カフェレストランとして装いもあらたにリニューアルオープンしました。ぜひご利用ください。

オリーブ（学寮食堂）

寮生に月曜日から金曜日までの朝夕の食事が提供されるとともに、平日の11：30～13：30には、全学的に開かれて、教職員、関係者に軽食と飲み物を提供するカフェとしてオープンしました。

La Mensa jasmin

産地直送の季節の食材を取り入れた
美味しいお料理をお楽しみ頂けます。
農薬や化学肥料などを使用しない
安心な BIO 食材にもこだわり、
ゆったりとしたテーブル席と開放的な
テラス席の落ち着いた空間で、
美味しく楽しいひとときをお過ごし下さい。

11:30～14:00 Lunch menu
14:00～17:00 Cafe & food & sweets menu
17:00～23:00 Dinner menu

カフェ直通　03-6712-6757

ご寄付・ご支援のお願い【グローバル教育環境整備募金】

【募金に関するお問い合わせ先】　聖心女子大学管理部財務課／電話：03-3407-5811（代表）
E-mail: e-zaimu@u-sacred-heart.ac.jp

●寄付金ホームページＵＲＬ：　https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/contribution.html
（「聖心女子大学　寄付金」で検索してください）
※ Web 画面からの申込み・クレジット決済も可能です。

発行　聖心女子大学　〒150-8938　東京都渋谷区広尾4-3-1　TEL 03-3407-5811（代表）　編集　聖心女子大学　広報・社会連携部　広報課　発行　年4回（3・6・7・11月）
無断転載・複製を禁じます